

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和3年10月25日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■新規就農者 現地状況確認

10月6日に、大野町の新規就農者の現地状況を就農支援チームで確認した。

新規就農者は、キンギョソウ、フランネルフラワーの切り花と、セルリア、プロテアの鉢花栽培を行っているが、鉢花の栽培技術が確立できておらず研究を重ねている。

鉢花の技術確立について、農業技術センター及び農業普及課で支援するとともに、経営の安定にむけた品目の検討等を関係機関とともに支援していく。



【鉢花生産の様子】

#### ■新規就農者 若手農業者の育成

10月7日に揖斐川町春日地区にて、農業普及課と茶若手農業者との面談を行った。農業次世代人材投資資金の交付対象者である農業者に対し、栽培や経営についての悩みや困っていること等について聞き取りを行った。

春日地区では、有機、無農薬での茶栽培を行っていることから、これらの栽培技術を習得し、地域の新たな担い手としても周囲の期待は高い。

今後も農業普及課は、町・JAと連携し、重点的な支援を行っていく。



【面談の様子】

#### ■かき 地元特産品を学ぶ

学校教育の一環として、10月4日に大野西小学校3年の児童30名を対象に、課外授業として、柿の収穫体験が開催された。

大野町かき振興会員が管理する早生富有の園で、柿の収穫の方法の説明を受け、赤く色づいた柿を児童らが収穫した。

家で柿栽培をしていたり、祖父母が柿を栽培している児童もおり、熱心に作業していた。大野町は柿の産地であり、児童は一層柿に興味関心を深めた様子であった。

農業普及課は、収穫における注意点や、児童からの柿に関する質問に回答した。今後も柿産地の活性化に向けて支援を行っていく。



【収穫体験の様子】

#### ■夏秋なす 帰農塾修了式

5月から行ってきた夏秋なす帰農塾も10月23日をもって最終日となった。栽培の反省、次年度の作付け計画・ほ場準備について、農業普及課から講義を行い、栽培終盤のほ場の視察を行った。修了式では一人ずつに修了証を手渡し、会長が激励の言葉を送った。帰農塾の参加者から1名が新たに組合に加入し、仲間となった。

農業普及課では、引き続き来年の作付けに向けて支援を行う。



【修了式の様子】

## ぎふ農畜水産物のブランド展開

### ■直売所の品目拡大 野菜栽培講習会の開催

10月19日、JAいび川担い手サポートセンターにおいて、直売所の出荷人数や出荷品目の拡大に向けた野菜栽培講習会が開催され、生産者や関係機関等から15名の参加があった。

コロナ禍で、5月から9月までの講習会は中止となったが、感染防止対策を講じての開催となった。今回は、「野菜の土づくりについて」と題して、栽培の基本となる、堆肥の投入など土づくりについてのポイントを説明した。

今後も、定期的に野菜講習会の開催を予定しており、直売所の出荷品目拡大に向けて、農業普及課では支援を行う。



【研修会の様子】

### ■いちご 3町合同2番花芽検鏡研修会

いちごの2番花の適切な管理を行うため、10月22日にJAいび川担い手サポートセンターで3町合同2番花芽検鏡研修会を開催した。3町合同の開催となり、揖斐地域の組合同士の連携を深める良い機会となった。

研修会では、農業共済から施設園芸共済や収入保険制度について、資材メーカーから天敵の利用等について説明があった。農業普及課から花芽検鏡の結果と今後の栽培管理、清流GAPについて説明を行った。

今年は10月に入っても高温が続いており、温度管理や肥培管理などが難しい状況であるため農業普及課では、今後も関係機関と連携し、技術支援を継続していく。



【研修会の様子】

### ■加工業務用キャベツ 揖斐郡全域で生育状況確認

JAいび川管内では、水田農業の担い手が加工業務用キャベツに取り組んでいる。販売はJA全農岐阜が主導し、JAいび川が生産出荷の取りまとめを行っている。

10月6日に作付け状況等の把握のため、JAいび川、JA全農岐阜、揖斐農林事務所が連携し、現地巡回調査を実施した。加工業務用キャベツは複数の品種を作付けすることで、出荷作業分散を目指している。巡回では、品種、定植日、生育量、病虫害発生状況、作柄を確認し、関係機関で情報共有した。

農業普及課は、今後の計画出荷実践に向け、関係機関と連携して支援していく。



【キャベツの生育調査】